

2024年度
大船遺跡 経過観察年次報告書

2026年3月
函館市

1 資産の顕著な普遍的価値と完全性・真実性に関する観察指標

項目	指標	測定内容・方法	備考
I. 顕著な普遍的価値を伝達する属性の保護・管理	I-1. 属性a) 自然資源を巧く利用した生活の在り方を示すこと	- 遺構・遺物の保存状態の把握・記録(II-2~8,10~13,IV-1,V-2)	属性a)に対する負の影響はみられない。
		- 構成資産及び周辺の植生の状態とその管理状況の把握(II-9,IV-2)	
		- 構成資産から周辺への眺望の把握(II-15,III-1~5,IV-2)	
	I-2. 属性b) 祭祀・儀礼を通じた精緻で複雑な精神性を示すこと	- 遺構・遺物の保存状態の把握・記録(II-2~8,10~13,IV-1,V-2)	属性b)に対する負の影響はみられない。
		- 構成資産から周辺への眺望の把握(II-15,III-1~5,IV-2)	
	I-3. 属性c) 集落の立地と生業との関係が多様であること	- 構成資産から周辺、構成資産周辺から構成資産への眺望の把握(II-15,III-1~5,IV-2)	属性c)に対する負の影響はみられない。
		- 構成資産が立地する地形の崩壊、変形状況の把握・記録(II-10,V-2,VI-1~2)	
		- 構成資産及び周辺の植生の状態とその管理状況の把握(II-9,IV-2)	
		- 構成資産周辺の景観阻害要因と景観の改善と変化の把握(II-15,III-1~5)	
	I-4. 属性d) 集落形態の変遷を示すこと	- 遺構・遺物の保存状態の把握・記録(II-2~8,10~13,IV-1,V-2)	属性d)に対する負の影響はみられない。
		- 構成資産から周辺への眺望の把握(II-15,III-1~5,IV-2)	
		- 被害等対策のための基礎情報の把握(II-1~4,11,14,III-4,IV-1,V-1,VI-1,2)	

2 構成資産の保護・管理に関する観察

項目	指標	2023年度結果	2024年度結果	備考	
II.資産の保全状況と保護・管理	II-2. 構成資産における現状変更件数	文化財保護法に基づく史跡の現状変更の許可申請・届出の件数及びその内容を把握する。	0件	0件	
	II-3. 構成資産におけるき損件数	文化財保護法に基づく史跡のき損届の件数及びその内容を把握する。	0件	0件	
	II-4. 遺産影響評価の実施件数	史跡整備、き損時の修復等に係る遺産影響評価の実施件数を把握する。	0件	0件	表1参照
	II-5. 構成資産の公有地化率	民有地の買い上げ実施状況を把握する。	100%	100%	
	II-6. 遺構の状況	遺構の状況について、観察、写真撮影等により記録する。	腐食・劣化あり	腐食・劣化あり	表2参照 竪穴建物跡複製展示(立体表示)等に経年劣化が認められる。
	II-7. 気温、湿度、降水量の経年変化	大気の時常観察を行い、気温、湿度、降水量の変化を計測する。	年平均気温 12.2℃ 湿度 67.90% 年間降水量 1,373mm	年平均気温 12.2℃ 湿度 64.02% 年間降水量 1,226mm	
	II-8. 地下水位	低湿地における水量、水質の状況を観察する。	該当なし	該当なし	
	II-9. 植生の状況	構成資産内の植生の状況について観察、写真撮影等により測定する。	変化なし	変化なし	表3参照
	II-10. 災害後の被害状況把握	風水害、土砂災害、地震等による構成資産における被害状況を把握する。	被害なし	被害なし	
	II-11. 構成資産の保存活用協議会等の開催数	構成資産を所管する地方公共団体を中心とした史跡整備委員会、保存活用協議会等の開催数を把握する。	2回	2回	表4参照
	II-12. 資産の調査研究	資産に関わる調査研究の実施状況及びその内容、調査研究成果等を掲載した報告書等の発刊数を把握する。	1件	1件	表5参照
	II-13. 関連文化財の調査研究	構成資産に関連する文化財の調査研究の実施状況及びその内容、調査研究成果を掲載した報告書等の発刊数を把握する。	4件	0件	表6参照
	II-14. 調査研究体制の充実	構成資産の調査研究等を担う専門職員の数を把握する。	2人	2人	
	II-15. 不適格工作物の撤去等の状況	構成資産内に現存する不適格工作物の撤去等の状況を把握する。	あり	あり	表7参照 地域住民の同意を得ながら計画的に移転を進めている。

3 構成資産及び緩衝地帯に影響を与える諸条件に関する観察指標

項目	指標		2023年度結果		2024年度結果		備考
Ⅲ.開発圧力	Ⅲ-1. 公共事業の発注件数	緩衝地帯の道路、河川、治山等の公共事業発注件数を把握する。	1件		1件		一般国道278号函館市大船改良工事
	Ⅲ-2. 民間の開発行為件数	緩衝地帯における開発許可申請や建築確認件数を把握する。	開発許可申請	0件	開発許可申請	8件	表8参照
			建築確認件数	0件	建築確認件数	0件	
	Ⅲ-3. 景観条例に基づく届出件数	景観条例に基づく届出件数を把握する。	届出件数	0件	届出件数	0件	
			事前協議件数	0件	事前協議件数	0件	
Ⅲ-4. 遺産影響評価の実施件数	開発行為等に係る遺産影響評価の実施件数を把握する。	2件		0件		表9参照	
Ⅲ-5. 構成資産の内外からみた眺望の観測	視点場からみた眺望の定点観測により、視界に入り込む阻害要因を把握する。	変化なし		変化なし		表10参照	
Ⅳ.環境変化	Ⅳ-1. 大気汚染に係る環境基準達成状況（二酸化硫黄・二酸化窒素）	大気の常時監視を行い、大気中の二酸化硫黄・二酸化窒素含有量を測定する。	二酸化硫黄		二酸化硫黄		
			年平均値	0.001ppm	年平均値	0.001ppm	
			日平均値の年間2%除外値	0.002ppm	日平均値の年間2%除外値	0.001ppm	
			環境基準適否	適	環境基準適否	適	
			二酸化窒素		二酸化窒素		
			年平均値	0.010ppm	年平均値	0.010ppm	
			日平均値の年間98%値	0.027ppm	日平均値の年間98%値	0.022ppm	
	環境基準適否	適	環境基準適否	適			
Ⅳ-2. 植生の状況	構成資産周辺の植生の状況について観察、写真撮影等により記録する。	変化なし		変化なし		表11参照	

項目	指標		2023年度結果	2024年度結果	備考
V.自然災害	V-1. 災害発生情報の観測	気象・地震・津波・火山活動による災害発生情報を把握する。	0回	0回	
	V-2. 災害後の被害状況把握	風水害、土砂災害、地震等による構成資産周辺の被害状況を把握する。	被害なし	被害なし	
VI.観光圧力	VI-1. 来訪者数	構成資産への来訪者数を測定する。	構成資産への来訪者数	構成資産への来訪者数	表12参照
			23,137人	19,329人	
			ガイドランス施設への来訪者数	ガイドランス施設への来訪者数	
			31,551人	30,794人	
	VI-2. 自動車数	構成資産の周辺地域における駐車場入込状況を測定する。	影響なし	影響なし	表13参照
VI-3. 便益施設等の設置状況	構成資産における便益施設等の設置状況を把握する。	設置済	設置済	表14参照	

※ 資産や緩衝地帯に影響を与える可能性がある計画や大規模開発等

特になし。

4 顕著な普遍的価値の伝達に関する指標

項目	指標		2023年度結果	2024年度結果	備考		
VII. 顕著な普遍的価値の伝達	VII-1. 資産に関する研修会等への参加者数	資産に関する研修会、セミナー等への参加者数を測定する。	3,922人	3,596人	表15参照		
	VII-2. ガイダンス施設の設置状況	構成資産におけるガイダンス施設の設置状況を把握する。	設置済	設置済	函館市縄文文化交流センター(2011年10月1日)		
	VII-3. パンフレットやホームページによる情報提供	刊行されているパンフレット等、地方公共団体共通のホームページにより、情報提供の回数・状況を把握する。	パンフレット等の発行回数	4回	パンフレット等の発行回数	8回	表16参照
			パンフレット等の発行部数	134,000部	パンフレット等の発行部数	27,000部	
			ホームページの更新回数	102回	ホームページの更新回数	104回	
			ホームページのアクセス数	167,662回	ホームページのアクセス数	117,878回	
VIII. 地域住民、民間団体の活動	VIII-1. 資産に関する地域住民、民間団体の活動	構成資産での地域住民、民間団体等の活動内容や参加人数等を測定する。	685人	440人	表17・18参照		

※ 2024年度の特記事項

・「史跡大船遺跡保存活用計画」策定

表1 資産内における遺産影響評価の実施状況
【行為等の詳細分析の要否判断結果】

構成資産名	行為地	行為の概要	影響レベル	詳細分析の 要否	判断理由	記録作成機関
該当なし						

【詳細分析を実施した案件】

構成資産名	行為地	行為の概要	分析方法	分析結果	評価理由	記録作成機関
該当なし						

表2 遺構の状況

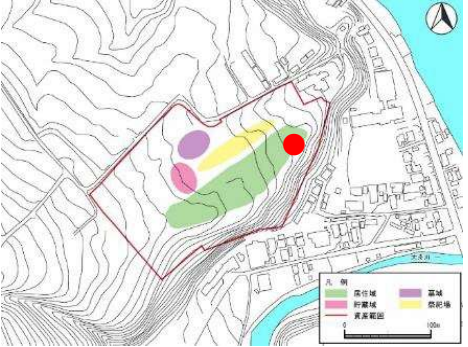



地点名	位置	2023年度	2024年度	備考
OUV 居住域	(図面) 	(写真)  撮影年月日→ 2023年10月11日 撮影	(写真)  撮影年月日→ 2024年9月25日 撮影	保護層で被覆しており、地下遺構は良好に保全されている。
OUV 貯蔵域	(図面) 	(写真)  撮影年月日→ 2023年10月11日 撮影	(写真)  撮影年月日→ 2024年9月25日 撮影	保護層で被覆しており、地下遺構は良好に保全されている。

表2 遺構の状況

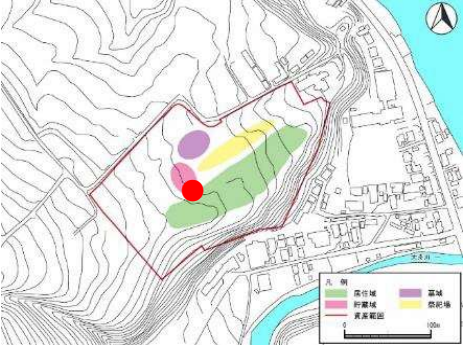


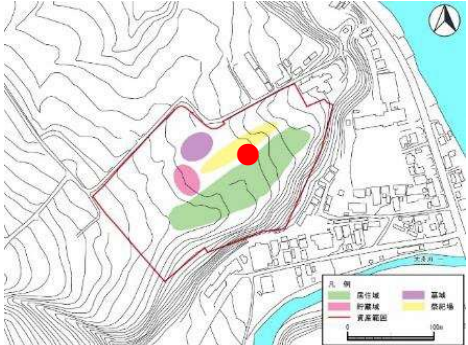


地点名	位置	2023年度	2024年度	備考
OUV 墓域	(図面) 	(写真)  撮影年月日→ 2023年10月11日 撮影	(写真)  撮影年月日→ 2024年9月25日 撮影	保護層で被覆しており、地下遺構は良好に保全されている。
OUV 祭祀場	(図面) 	(写真)  撮影年月日→ 2023年10月11日 撮影	(写真)  撮影年月日→ 2024年9月25日 撮影	保護層で被覆しており、地下遺構は良好に保全されている。

表2 遺構の状況

地点名	位置	2023年度	2024年度	備考
立体表示 H-1	<p>(図面)</p> 	<p>(写真)</p>  <p>撮影年月日→ 2023年10月11日 撮影</p>	<p>(写真)</p>  <p>撮影年月日→ 2024年9月25日 撮影</p>	<p>床・壁面および建材に経年劣化が認められる。</p>
立体表示 H-53	<p>(図面)</p> 	<p>(写真)</p>  <p>撮影年月日→ 2023年10月11日 撮影</p>	<p>(写真)</p>  <p>撮影年月日→ 2024年9月25日 撮影</p>	<p>床・壁面および建材に経年劣化が認められる。</p>

表2 遺構の状況

地点名	位置	2023年度	2024年度	備考
復元展示 H-16	<p>(図面)</p> 	<p>(写真)</p>  <p>撮影年月日→ 2023年10月11日 撮影</p>	<p>(写真)</p>  <p>撮影年月日→ 2024年9月25日 撮影</p>	<p>茅の経年劣化や抜けが認められる。</p>
複製展示 H-21	<p>(図面)</p> 	<p>(写真)</p>  <p>撮影年月日→ 2023年9月15日 撮影</p>	<p>(写真)</p>  <p>撮影年月日→ 2024年9月25日 撮影</p>	<p>床・壁面に経年劣化が認められる。</p>

表2 遺構の状況

地点名	位置	2023年度	2024年度	備考
復元展示 H-32	<p>(図面)</p> 	<p>(写真)</p>  <p>撮影年月日→ 2023年9月15日 撮影</p>	<p>(写真)</p>  <p>撮影年月日→ 2024年9月25日 撮影</p>	<p>床・壁面に経年劣化が認められる。</p>
複製展示 H-54	<p>(図面)</p> 	<p>(写真)</p>  <p>撮影年月日→ 2023年9月15日 撮影</p>	<p>(写真)</p>  <p>撮影年月日→ 2024年9月25日 撮影</p>	<p>床・壁面に経年劣化が認められる。</p>

表2 遺構の状況

地点名	位置	2023年度	2024年度	備考
盛土遺構	<p>(図面)</p> 	<p>(写真)</p>  <p>撮影年月日→ 2023年10月11日 撮影</p>	<p>(写真)</p>  <p>撮影年月日→ 2024年9月25日 撮影</p>	<p>保護層で被覆しており、地下遺構は良好に保全されている。</p>
平面表示	<p>(図面)</p> 	<p>(写真)</p>  <p>撮影年月日→ 2023年10月11日 撮影</p>	<p>(写真)</p>  <p>撮影年月日→ 2024年9月25日 撮影</p>	<p>保護層で被覆しており、地下遺構は良好に保全されている。</p>

表3 植生の状況(構成資産範囲)

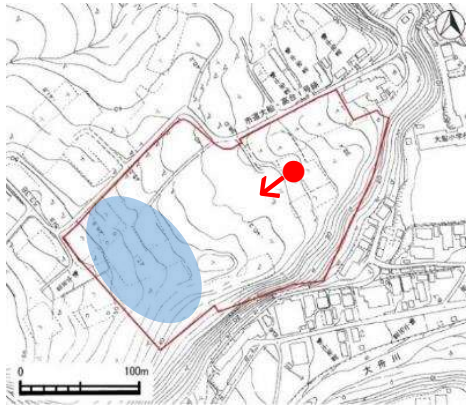


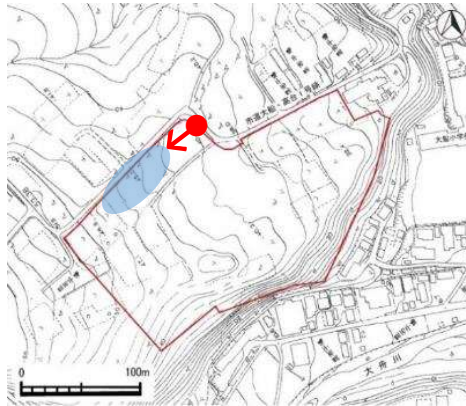


地点名	位置・方向	2023年度	2024年度	主な樹種、外来種等
No.1	(図面) 	(写真)  撮影年月日→ 2023年10月11日 撮影	(写真)  撮影年月日→ 2024年9月25日 撮影	主な樹種: 落葉広葉樹(クリ, ナラ, オニグルミ等), 針葉樹(スギ等) 外来種(キリ等) その他(オオイタドリ等)
No.2	(図面) 	(写真)  撮影年月日→ 2023年10月11日 撮影	(写真)  撮影年月日→ 2024年9月25日 撮影	主な樹種: 落葉広葉樹(クリ, ナラ, オニグルミ等), 針葉樹(スギ等) 外来種(キリ等) その他(オオイタドリ等)

表4 構成資産の保存活用協議会等の開催状況

【構成資産を主体とした協議会の開催状況】

名称	開催年月日	議事・報告事項	備考
函館市縄文遺跡群保存活用協議会	第1回 2024年11月26日	報告事項 ・2024年度縄文遺跡群の保存活用および普及啓発に関する取り組みについて ・世界遺産の保全に係る遺産影響評価実施報告(2024年度上半期) ・史跡大船遺跡の保存活用計画の策定について	
	第2回 2025年2月20日	報告事項 ・2024年度縄文遺跡群の保存活用および普及啓発に関する取り組みについて ・2025年度縄文関係事業計画内容(予定)について ・世界遺産の保全に係る遺産影響評価実施報告(2024年度下半期) ・史跡大船遺跡の保存活用計画の策定について	

【保存・活用に係る委員会の開催状況】

名称	開催年月日	議事・報告事項	備考
史跡大船遺跡 保存活用計画検討委員会	第1回 2024年7月9日	現地視察 ・史跡指定地および取り囲む範囲の現状と課題の共有 会議 ・委員長の選出 ・事業概要について ・「保存活用計画」(素案)の内容について(全体構成、主に1章～5章の検討・協議)	
	第2回 2024年10月30日	会議 ・第1回計画検討委員会での意見・指摘事項について ・「保存活用計画」(素案)の内容について (第1～5章の更新内容の確認、第6～附章の検討・協議)	
	第3回 2025年1月23日	会議 ・第2回計画検討委員会での意見・指摘事項について ・「保存活用計画」(案)の内容について (第6～附章の更新内容の確認、全体の検討・協議) ・最終審議	

表5 資産の調査研究

【調査研究の実施状況】

調査研究の内容	実施主体	実施期間	概要	別添資料の有無	補助金等
「道南部および北東北における緑色岩製磨製石斧の製作技術と流通について」	函館市縄文文化交流センター (秋田県埋蔵文化財センター)	2024年9月～2025年3月	函館市域の縄文時代の遺跡を中心に、緑色岩製磨製石斧の特徴や利用状況について検討し、流通について明らかにした。	■ あり □ なし	なし

【調査研究成果等を掲載した報告書等】

名称	作成主体	規格・頁数	発行部数	言語	概要	補助金等
該当なし						

表6 関連文化財の調査研究

名称	作成主体	規格・頁数	発行部数	言語	概要	補助金等
該当なし						

表7 不適格工作物の撤去等の状況

不適格工作物	位置	2023年度	2024年度	備考
市営墓地	(図面) 	(写真)  撮影年月日→ 2023年9月15日 撮影	(写真)  撮影年月日→ 2024年9月25日 撮影	将来的に撤去するため、墓地の新規共用を停止し、地域住民の同意を得ながら計画的に移転を進めている。 また、史跡内への車両の立ち入りを禁止する看板を設置している。
	(図面)	(写真) 撮影年月日→ 撮影	(写真) 撮影年月日→ 撮影	

表8 民間の開発行為件数

法令・制度等	条文	2023年度結果	2024年度結果	備考
文化財保護法	第93条	0件	0件	
	第125条	0件	0件	
都市計画法	第29条	0件	0件	
急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律	第7条	0件	0件	
土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律	第10条	0件	0件	
都市公園法（青森県都市公園条例）	第6条			
砂利採取法	第16条	0件	0件	
森林法	第10条の2	0件	0件	
	第10条の8			
	第34条1項			
	第34条2項			
	第34条の2			
第34条の3				
河川法	第20条	0件	0件	
	第24条			
	第25条			
	第26条1項			
	第27条1項			
第55条1項				
千歳市普通河川条例	第5条			
洞爺湖町普通河川管理条例	第5条			
弘前市法定外公共物管理条例	第4条			
函館市普通河川管理条例	第10条	0件	0件	
砂防法（砂防法施行条例：秋田県条例）	第4条			
農地振興地域の整備に関する法律	第15条の2			
	第15条の4			
農地法	第4条第1項			
	第5条第1項			
道路法	第24条	1件	4件	第32条
	第32条			
墓地、埋葬等に関する法律	第10条			
函館市墓地条例	第8条	0件	4件	
八戸市墓地、埋葬等に関する法律施行細則	第3条			
漁港漁場整備法	第39条			
北海道自然環境等保全条例	第30条	0件	0件	

表9 緩衝地帯及びその周辺における遺産影響評価の実施状況
 【開発行為等の詳細分析の要否判断結果】

構成資産名	行為地	開発等の概要	影響レベル	詳細分析の 要否	判断理由	記録作成機関
該当なし						

【詳細分析を実施した案件】

構成資産名	行為地	開発等の概要	分析方法	分析結果	評価理由	記録作成機関
該当なし						

表10 構成資産の内外からみた眺望の観測

地点名	位置	2023年度	2024年度	備考
<p>視点場 No.1</p>	<p>(図面)</p> 	<p>(写真)</p>  <p>撮影年月日→ 2023年10月11日 撮影</p>	<p>(写真)</p>  <p>撮影年月日→ 2024年9月25日 撮影</p>	<p>緩衝地帯内における国道278号尾札部道路については、景観保全を図ったルートと工法が採用されており、当該視点場からの視野には入らない。</p>
<p>視点場 No.2</p>	<p>(図面)</p> 	<p>(写真)</p>  <p>撮影年月日→ 2023年10月11日 撮影</p>	<p>(写真)</p>  <p>撮影年月日→ 2024年9月25日 撮影</p>	<p>緩衝地帯内における国道278号尾札部道路については、景観保全を図ったルートと工法が採用されており、当該視点場からの視野には入らない。</p>

表10 構成資産の内外からみた眺望の観測

地点名	位置	2023年度	2024年度	備考
視点場 No.3	<p>(図面)</p> 	<p>(写真)</p>  <p>撮影年月日→ 2023年10月11日 撮影</p>	<p>(写真)</p>  <p>撮影年月日→ 2024年9月25日 撮影</p>	<p>緩衝地帯内における国道278号尾札部道路については、景観保全を図ったルートと工法が採用されており、当該視点場からの視野には入らない。</p>
視点場 No.4	<p>(図面)</p> 	<p>(写真)</p>  <p>撮影年月日→ 2023年10月11日 撮影</p>	<p>(写真)</p>  <p>撮影年月日→ 2024年9月25日 撮影</p>	<p>緩衝地帯内における国道278号尾札部道路については、景観保全を図ったルートと工法が採用されており、当該視点場からの視野には入らない。</p>

表11 植生の状況(構成資産周辺)

地点名	位置・方向	2023年度	2024年度	主な樹種、外来種等
No.1	(図面) 	(写真)  撮影年月日→ 2023年10月11日 撮影	(写真)  撮影年月日→ 2024年9月25日 撮影	主な樹種: 落葉広葉樹(クリ, ナラ, オニグルミ, オオヤマザクラ等) 外来種(キリ等) 野生動物による食害は概ね認められない。
	(図面)	(写真) 撮影年月日→ 撮影	(写真) 撮影年月日→ 撮影	

表12 来訪者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月当たり平均
構成資産	1,656	2,612	2,541	2,507	2,871	2,661	2,389	1,151	170	153	124	494	19,329	1,611
ガイダンス施設	2,165	3,803	3,489	3,598	5,224	3,930	3,494	2,204	614	596	470	1,207	30,794	2,566

表13 自動車数

【構成資産(駐車可能台数:27台)】

(単位:日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月当たり平均
満車日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
臨時駐車場 開放日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【ガイダンス施設(駐車可能台数:40台)】

(単位:日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月当たり平均
満車日数	2	4	0	1	6	1	2	3	0	0	0	0	19	2
臨時駐車場 開放日数	2	4	0	1	3	0	1	0	0	0	0	0	11	1

表14 便益施設等の設置状況

【便益施設等の設置状況】

	休憩室	トイレ	乳幼児施設	高齢者用施設	通信環境	その他
構成資産	あり	あり	あり	あり	なし	トイレ(バリアフリー対応), 車椅子貸出
ガイダンス施設	あり	あり	あり	あり	あり	トイレ(バリアフリー対応), 車椅子・ベビーカー貸出

【域内における誘導サインの設置状況】

構成資産	30箇所
------	------

表15 資産に関する研修会等の開催状況

名称	開催日	事業主体	参加者数	概要
収蔵資料展「函館の円筒土器文化」	2024年4月1日～6月23日	市立函館博物館	—	函館市内から出土した縄文時代の円筒土器を中心とした展示。
郷土学習推進事業	2024年4月1日～2025年3月31日	函館市教育委員会	1528人	市内小学校の3年生を対象に、令和6年度郷土学習推進事業「縄文に触れる学習」として、遺跡の見学を実施。市内39校が参加。
はこだて健幸アプリ H a k o b i t (大船遺跡)	2024年4月1日～2025年3月31日	「はこだて市民健幸大学」実行委員会(事務局:函館市保健福祉部)	66人	「はこだて市民健幸大学」事業による、歩数や健康状態を記録する健康系アプリ H a k o b i t において、大船遺跡を巡るコースを公開。
ゴールデンウィーク限定「しおりづくり」	2024年5月3日～5日	函館市縄文文化交流センター	90人	撚り合わせた縄を使って、オリジナルのしおりを製作。
縄文体験講座「縄文ドッキーづくり」	2024年5月11日	函館市縄文文化交流センター	7人	縄文土器に興味を持ってもらうため、南茅部地域の遺跡から出土した土器片に似せたクッキーを作る講座。
出前講座 世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」	2024年6月25日	函館市企画部	36人	市立函館高等学校での函館学講座として、文化財課の職員が講師として講演。講演後、生徒によるグループ討議や発表を実施。
縄文体験講座「縄文時代の漁労を学ぶ 鹿角釣り針づくり」	2024年6月29日	函館市縄文文化交流センター	12人	鹿角を用いた釣り針を製作し、縄文時代の漁労の道具について学ぶ講座。
埼玉イオンレイクタウンmori「北海道フェア」出展	2024年7月2日～7日、9月25日～10月1日	函館市経済部	—	イオンレイクタウンmoriで開催された「北海道フェア」にて、縄文PRブースを設置し、缶バッジやクリアファイル等のノベルティを配布。
夏休み自由研究「黒曜石で石器をつくろう」	2024年8月1日	市立函館博物館	15人	旧石器人・縄文人と同じ方法で石器を作り、当時の生活用具加工術や狩猟について学ぶ講座。
縄文体験講座「縄文時代の住居を学ぶ(竪穴住居ジオラマづくり)」	2024年8月3日	函館市縄文文化交流センター	8人	竪穴住居のジオラマ(骨組復元住居)の製作を通して、縄文人の暮らしについて学ぶ講座。
夏休み自由研究「鹿の角で縄文時代の釣り針をつくろう」	2024年8月6日	市立函館博物館	12人	鹿角を使って、縄文時代に使われた釣り針を製作。
第7回縄文絵画コンクール	2024年8月23日～9月3日	北海道新聞函館支社(主催)、函館市、函館市教育委員会、北海道渡島総合振興局(共催)	153人	「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録3周年を記念し、児童生徒を対象にした絵画コンクールを開催。
縄文体験講座「夏の縄文染め」	2024年8月24日	函館市縄文文化交流センター	9人	サルナシの葉や茎を煮出した染液を用い、草木染めを体験する講座。
函館検定合格者の会ともえ塾「道南の縄文文化」	2024年8月30日	市立函館博物館	26人	「はこだて検定」受験者を対象とした受験対策講義として「道南の縄文文化」について説明。
縄文体験講座「縄文土器づくり」	2024年9月7日・8日	函館市縄文文化交流センター	12人	函館市内の縄文遺跡から出土した縄文土器を見本に土器を製作する講座。
出前講座 世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」	2024年9月24日	函館市企画部	15人	函館消費者協会(函館消費者大学)より依頼を受け、文化財課職員が講師として講演。

第7回縄文絵画コンクール表彰式 および展示	2024年10月5日～18日	北海道新聞函館支社 (主催), 函館市, 函 館市教育委員会, 北海 道渡島総合振興局 (共 催)	—	津軽海峡フェリー函館フェリーターミナルにて, 8～9月に行った絵画 コンクールにおける受賞者の表彰式を行うとともに, 入賞・入選作品 の展示を実施。
「北海道・北東北の縄文遺跡群」 世界遺産登録3周年記念 はこだ て縄文まつり2024 in 垣ノ島遺跡	2024年10月6日	南かやべ縄文まつり実 行委員会 (主催), 函 館市教育委員会 (共 催), 函館市ほか (後 援)	1100人	世界遺産登録3周年を記念し, 垣ノ島遺跡を会場に, ステージイベン トや縄文体験, 物販等を実施した。あわせて, 世界遺産を巡るスタン プラリーを実施し, 大船遺跡への来訪も図った。
縄文体験講座「中空土偶 (レプリ カ) をだっこしてみよう」	2024年10月6日	函館市縄文文化交流セ ンター	96人	中空土偶のレプリカに実際に触れる体験を通じて, 土偶制作の技術の 高さを実感してもらうイベント。
出前講座 世界遺産「北海道・北 東北の縄文遺跡群」	2024年10月24日	函館市企画部	30人	日吉町在宅福祉委員会より依頼を受け, 文化財課職員が講師として講 演。
縄文体験講座「黒曜石の石鏃づく り」	2024年11月9日	函館市縄文文化交流セ ンター	10人	黒曜石を削って石鏃を製作することで, 縄文時代の狩猟や石器の製作 技術について学ぶ講座。
函館コレクション2024	2024年12月1日	函館市女性会議 (主 催), 函館市 (共催)	—	市役所で開催されたユニバーサルファッションショーの会場内におい て, 縄文PRブースを設置し, 缶バッジやクリアファイル, リーフ レット等のノベルティを配布。
縄文文化特別研究成果発表展示	2024年12月13日～3月31日	函館市縄文文化交流セ ンター	—	縄文文化交流センターの特別研究の成果に係るミニ企画展。
学芸員こぼれ話①「縄文時代の生 活・文化あれこれ」	2024年12月15日	市立函館博物館	9人	縄文時代の人々の生活や精神文化について, 函館の遺跡を中心とした 講演を実施。
冬休み限定縄文体験学習「縄文体 験・土偶づくり」	2025年1月11日・12日	函館市縄文文化交流セ ンター	15人	ラミネートした土偶の写真に合わせて粘土を貼り付け, 板状の土偶を 製作する講座。
縄文体験講座「チョコレートで石 器づくり」	2025年2月8日	函館市縄文文化交流セ ンター	5人	本物の石器から型を取ったチョコ型を用いて石器型のチョコレートを 作り, 縄文時代の道具について学ぶ講座。
春休み期間限定「縄文世界遺産ク イズラリー」	2025年3月20日～30日	函館市縄文文化交流セ ンター	342人	展示室の展示やパネルから, 世界遺産や縄文に関する問題の答えを探 すクイズラリーを実施。

表16 パンフレットやホームページによる情報提供
【パンフレット等】

名称	作成(改訂)主体	規格・頁数	発行部数	言語	概要
函館市縄文遺跡群案内用フライヤー	函館市教育委員会	210×100mm・両面	10,000枚	英語	函館市内の公共施設に設置し、遺跡への来訪を促すためのフライヤー。
函館市縄文遺跡群案内用フライヤー	函館市教育委員会	210×100mm・両面	5,000枚	中国語(簡体字)	函館市内の公共施設に設置し、遺跡への来訪を促すためのフライヤー。
函館市縄文遺跡群案内用フライヤー	函館市教育委員会	210×100mm・両面	5,000枚	中国語(繁体字)	函館市内の公共施設に設置し、遺跡への来訪を促すためのフライヤー。
函館市縄文遺跡群案内用フライヤー	函館市教育委員会	210×100mm・両面	3,000枚	韓国語	函館市内の公共施設に設置し、遺跡への来訪を促すためのフライヤー。
史跡垣ノ島遺跡・史跡大船遺跡両面リーフレット	函館市教育委員会	A4両面4色刷り・三つ折り	1,000部	英語	垣ノ島遺跡および大船遺跡に来訪した人に配布する両面リーフレット。
史跡垣ノ島遺跡・史跡大船遺跡両面リーフレット	函館市教育委員会	A4両面4色刷り・三つ折り	1,000部	中国語(簡体字)	垣ノ島遺跡および大船遺跡に来訪した人に配布する両面リーフレット。
史跡垣ノ島遺跡・史跡大船遺跡両面リーフレット	函館市教育委員会	A4両面4色刷り・三つ折り	1,000部	中国語(繁体字)	垣ノ島遺跡および大船遺跡に来訪した人に配布する両面リーフレット。
史跡垣ノ島遺跡・史跡大船遺跡両面リーフレット	函館市教育委員会	A4両面4色刷り・三つ折り	1,000部	韓国語	垣ノ島遺跡および大船遺跡に来訪した人に配布する両面リーフレット。

【ホームページ】

名称	運営主体	概要	アドレス	言語	更新回数	アクセス数
世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」	函館市教育委員会	函館市の「北海道・北東北の縄文遺跡群」を紹介するトップページ。	https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2017122200063/	日本語	0	3,947
【世界遺産】縄文文化と「北海道・北東北の縄文遺跡群」	函館市教育委員会	函館の縄文文化と世界遺産の概要を紹介するページ。	https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2017122200100/	日本語	1	2,258
【世界遺産】函館市の構成資産 史跡大船遺跡	函館市教育委員会	「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産である史跡大船遺跡を紹介するページ。	https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2022012400058/	日本語	2	3,513
【世界遺産】縄文関係刊行物(パンフレット・ポスター等)	函館市教育委員会	函館市の縄文関係刊行物を紹介するページ。	https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2020060200033/	日本語	1	288
【世界遺産】縄文遺跡群の世界文化遺産登録による効果促進施策のあり方	函館市教育委員会	世界文化遺産登録による効果を最大化することを目的に策定した「あり方」を紹介するページ。	https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2020070100071/	日本語	0	32
史跡大船遺跡保存活用計画	函館市教育委員会	「史跡大船遺跡保存活用計画」の本編および概要版や、計画検討委員会の概要について掲載したページ。	https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2024061900039/	日本語	5	211
函館市縄文文化交流センター	函館市教育委員会	縄文文化交流センターの施設案内に関するページ。	https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2014021000060/	日本語	0	1,290

縄文文化特別研究の公募	函館市教育委員会	縄文文化特別研究の公募内容に関する広報のページ。	https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2014101600036/	日本語	0	21
函館市縄文遺跡群保存活用協議会	函館市教育委員会	函館市縄文遺跡群保存活用協議会の概要を紹介するページ。	https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2019090300059/	日本語	3	321
縄文紙芝居の貸出について	函館市教育委員会	縄文文化を紹介する子供向け紙芝居の貸出に関する広報のページ。	https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2019120200038/	日本語	0	48
「はこだて縄文学習デジタルブック」について	函館市教育委員会	タブレット端末等で利用可能なウェブコンテンツのページ。	https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2023042000027/	日本語	0	218
JOMON WEEK IN SUMMER 2024 「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録3周年記念企画について	函館市教育委員会	世界遺産登録3周年記念事業として行った企画について周知するページ。	https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2024071700032/	日本語	1	350
【終了しました】「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録3周年記念企画について	函館市教育委員会	世界遺産登録3周年記念事業として行ったパネル展示について周知するページ。	https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2024061700097/	日本語	1	259
世界遺産登録3周年記念 はこだて縄文まつり2024 in 垣ノ島	函館市教育委員会	世界遺産登録3周年記念事業として行ったイベントについて周知するページ。	https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2024092700035/	日本語	1	453
大船遺跡 縄文の森の樹木図鑑	函館市教育委員会	大船遺跡「縄文の森」に生息する樹木について紹介するページ。	https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2023090500067/	日本語	0	281
縄文遺跡	函館市南茅部支所	南茅部地域の縄文文化を紹介するトップページ。	https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2020012800083/	日本語	0	407
函館市縄文文化交流センター	函館市縄文文化交流センター	縄文文化交流センターの事業内容や開館状況に関するページ。	http://www.hjcc.jp/	日本語 英語	36	18,901
函館市縄文文化交流センターX (旧Twitter)	函館市縄文文化交流センター	函館市縄文文化交流センター公式アカウント。センターに関するイベントや、縄文・地域に関する様々な情報を発信。	https://twitter.com/hako_mai	日本語	53	85,080

表17 資産に関する地域住民、民間団体の活動

名称	開催日	事業主体	参加者数	概要
万年橋小学校縄文授業	2024年4月9日	縄文DOHNANプロジェクト	30人	函館市立万年橋小学校において、小学3年生を対象に、縄文紙芝居やクイズ等を実施。
清掃活動	2024年4月20日	北の縄文CLUB	10人	史跡大船遺跡とその周辺におけるボランティア清掃活動を実施。
北海道空港協会通常総会 講演	2024年5月16日	北海道空港協会	28人	縄文遺跡に関する講師派遣の依頼を受け、文化財課職員が講師として講演。
縄文遺跡群世界遺産の価値と活用について講話会	2024年6月12日	道南縄文文化推進協議会（函館商工会議所）	26人	道南縄文文化推進協議会総会時に、会員を対象とした講話会を開催。
ミニ石斧づくり	2024年6月22日	北の縄文CLUB	7人	南茅部総合センターにて、ミニ石斧を製作する体験会を実施。
どうなんJ OMON発見！ in函館 蔦屋書店	2024年8月4日	縄文DOHNANプロジェクト	40人	じょうもんかるた大会やじょうもんワークショップ、グッズ販売などを実施。
土器づくり	2024年8月24日	北の縄文CLUB	12人	南茅部総合センターにて、土器を製作する体験会を実施。
縄文文化講演会	2024年8月27日	日本近代史研究サークル	10人	世界遺産に登録された大船遺跡について深く知りたいとの要望を受け、文化財課職員が講師として講演。
エントランス展示	2024年8月30日～2025年3月31日	函館市立南茅部中学校	-	地元にある縄文遺跡への興味関心の向上および理解促進を図るため、校舎1階エントランスに垣ノ島遺跡および大船遺跡の出土物を展示。
青函交流フェスタ in金森赤レンガ倉庫	2024年9月14日～16日	縄文DOHNANプロジェクト	100人	じょうもんワークショップ、縄文パネル展示などを実施。
土器野焼き	2024年10月12日	北の縄文CLUB	9人	大船遺跡体験広場にて、「土器づくり」で制作した土器の野焼きを実施。
青森・道南縄文産直市 in大宮駅	2024年11月9日・10日	縄文DOHNANプロジェクト	-	じょうもんワークショップ、縄文パネル展示などを実施。
縄文遺跡講話	2024年11月15日	木古内町立木古内中学校	23人	縄文遺跡に関する講師派遣の依頼を受け、文化財課職員が講師として講演。
縄文学習～縄文遺跡PRプロジェクト～	2024年11月19日	函館市立南茅部中学校	82人	総合的な学習の時間の一環として、縄文遺跡に関する講師派遣の依頼を受け、文化財課職員が講師として講演。
J OMONで楽しむ和菓子体験	2024年11月30日	縄文DOHNANプロジェクト	10人	縄文とクリをテーマにした和菓子をつくるイベントを開催。
縄文かるた大会	2025年3月16日	縄文DOHNANプロジェクト	50人	子どもから読み句を募集して製作したかるたで遊ぶかるた大会を開催。
縄文関係グッズ配布	2025年3月27日	縄文DOHNANプロジェクト	3人	渡島・檜山の新小学1年生に向けて、ご当地カッターを掲載したクリアファイル約2,400枚を配布。

表18 構成資産の保護に関する団体等

【管理団体等の概要】

名称	所有者／管理者	従事者、従業員数	団体の概要
函館市	史跡大船遺跡の所有者・管理者	【資産管理保全に係る従事者数】 所属長1名，専門職員2名，行政職員3名	教育委員会生涯学習部文化財課が資産の保全管理を所管している。

【構成資産の保存活用に関わる団体の概要】

名称	団体の種別	会員数	設立年月	団体の概要
一般財団法人道南歴史文化振興財団	一般財団法人	35名	2016年4月	ガイダンス施設である函館市縄文文化交流センターの指定管理者であり，構成資産である垣ノ島遺跡・大船遺跡の管理委託者。市内の発掘調査の調査実施者でもある。
北の縄文CLUB	任意団体	38名	1998年4月	土器や勾玉等の製作や遺跡清掃等の活動を通じ，縄文文化の普及啓発を行っている。2017年度北海道地域文化選奨受賞。2021年函館市市民貢献賞（教育文化功労）受賞。
道南縄文文化推進協議会	任意団体	1215法人 （正会員58・賛助会員1157）	2013年8月	2市1町の商工会議所・商工会で組織する「函館・北斗・七飯経済団体協議会」を母体としており，縄文文化の普及啓発に係るイベント開催やグッズ製作のほか，駅前ビルへの横断幕設置等も実施している。
縄文DOHNANプロジェクト	任意団体	36名	2019年7月	土偶モチーフのキャラクターを使用したグッズの開発・販売や市内の公立小学校への寄贈，地元企業とのコラボレーション企画，イベント開催等，縄文を活用した活動を行っている。